

平成29年度事業報告書

公益財団法人 日中友好会館

目次

I、公益目的事業

(公1) 青少年交流・教育交流事業	総合交流部	
1、「日中植林・植樹国際連帯事業」による交流事業		4
2、青少年交流事業「JENESYS2017」「JENESYS2.0」		11
(公2) 寄宿舎施設の運営	留学生事業部	
1、後楽寮入退寮状況		16
2、後楽寮研修棟入退寮状況		
3、開寮以来の入退寮状況		
4、後楽寮修繕・改修工事		
5、活動実績		
(公3) 中国語及び日本語教育	日中学院	
1、全体の活動状況		20
2、学科状況		
3、各科活動状況		
4、校友会活動		
5、日中学院評議会		
(公4) 文化事業	文化事業部	
1、主催・協力事業		22
2、美術館展覧会実績		
3、その他の催事		

II、収益事業

	資産管理部	
1、オフィスビル賃貸業務		27
2、ホテル運営業務		
3、設備更新		

III、その他の事業

1、会員相互友好事業	日中友好後楽会	29
------------	---------	----

IV、法人の状況

1、評議員会		31
2、理事会		32
3、広報		33
4、人事異動		33
5、在職者		34

〔I〕公益目的事業

(公1) 青少年交流・教育交流事業 : 総合交流部

29年度は、外務省の実施する「日中植林・植樹国際連帯事業」による日中青少年等交流事業、青少年交流事業「JENESYS2.0」及び対日理解促進交流プログラム「JENESYS2017」、にて、招聘事業45団3,241名、派遣事業1団39名を実施。

このうち、「日中植林・植樹国際連帯事業」は、外務省や関係機関との調整により、植林・植樹とセットの形で日中青少年等交流事業を実施した。29年度は、年間約1,700名の招聘目標人数に対し、32団1,748名を実施。

29年度の「日中植林・植樹国際連帯事業」の主な特徴としては「日中国交正常化45周年」であることから、外務省が、同事業の主目的である植樹活動及び環境・防災意識の啓発をベースとしつつ、対日理解促進の観点から「3つの架け橋」(①地方間交流(友好交流都市提携を結ぶ地域同士の交流)、②青少年交流(日中青少年の交流促進/日中知的交流の促進/5つの協力分野(経済/少子高齢化/防災/観光/省エネ・環境)をテーマとした交流)、③文化・スポーツ交流)を軸に約1,000名規模の招聘事業実施を決定、主に大学生を中心に、それぞれ特色ある事業を展開することができた。そのほか、外務省本省・在外公館等による「戦略的招聘」として、各界のさまざまな分野の青年を招聘、主なプログラムについては原則、外務省本省・在外公館等が手配・調整する形で実施した。第三国・地域の招聘事業は、対象国・地域、分野も多岐に及んだが、環境・防災問題解決のためのプログラムや、同分野における協力関係強化、次世代リーダー育成など、さまざまな目的に応じて実施された。

また、「JENESYS2.0」と「JENESYS2017」の「JENESYSプログラム」では、年間目標招聘人数1,560名、派遣人数80名に対し、招聘事業13団1,493名、派遣事業1団39名を実施した。

29年度の「JENESYSプログラム」の主な特徴としては、29年1～12月の事業を「日中国交正常化45周年」の記念事業として、30年1月以降(～3月迄)の事業を「日中平和友好条約締結40周年」の記念事業として実施した。中国高校生の招聘を約1,000名規模で継続実施できたこと、中国青年(公務員・農村青年幹部・教育関係者・メディア関係者・青年研究者)についても、それぞれのテーマ・専門分野に応じた特色ある交流プログラムを展開できたこと、また28年度に約5年ぶりに復活した日本青年メディア関係者訪中団(中国国務院新聞弁公室受け入れ)が、小規模だが29年度も継続して実施できたことなどが挙げられる。

1. 「日中植林・植樹国際連帯事業」による日中青少年等交流事業（第三国・地域を含む）

【招聘事業】

（1）中国大学生訪日団

日中国交正常化 45 周年記念事業「3つの架け橋」プロジェクトの一環として、「文化」「5つの協力分野（経済/省エネ・環境/観光/防災/少子高齢化）」「スポーツ」をテーマに、中国大学生訪日団 3 団 385 名を招聘。

陣名	招聘期間	招聘人数	団員構成(地域)	訪問先	派遣機関
第1陣 (文化)	7月10日(月) ～7月17日(月)	100	漫画、日本語、書道 (北京市、上海市)	東京、愛知、 三重	中日友好協会
第2陣 (5つの 協力分野)	10月25日(水) ～11月1日(水)	150	経済、省エネ・環境、観 光、防災、少子高齢化 (北京市、湖北省、湖南 省、四川省、浙江省)	東京、奈良、 大阪、佐賀	
第3陣 (スポーツ)	11月19日(日) ～11月26日(日)	135	バレーボール(男女)、野球 (男)、ソフトボール(女) (北京市)	東京、神奈川、 埼玉、宮城、山 梨	
合 計		385			

概要と成果：

中国大学生は各陣それぞれの分野を専攻、または愛好する大学生・大学院生で構成。植樹活動及び環境・防災に関するセミナー受講や関連施設・地域を視察・参観したほか、対日理解促進の観点から、各分野を軸とした視察・参観、日本の大学生及び関係者と交流した。第2陣では日中学生交流セミナーや農家民泊も行った。

中国側担当機関：中日友好協会

受入実施：(公財) 日中友好会館

（2）中国大学生友好交流訪日団（地方間交流）

日中国交正常化 45 周年記念事業「3つの架け橋」プロジェクトの一環として、「地方間交流」をテーマに、日本の各自治体と友好交流都市提携を結ぶ地域の中国大学生で構成する訪日団 3 団 500 名を招聘。

陣名	招聘期間	招聘人数	派遣地域(友好交流訪問先)	派遣機関
第1陣	9月11日(月) ～9月17日(日)	50	福建省(沖縄)	中日友好協会

第2陣	10月16日(月) ～10月22日(日)	199	吉林省(宮城)、江西省(岐阜)、福建省(長崎)、広西チワン族自治区(熊本)
第3陣	11月28日(水) ～12月4日(月)	251	山西省(埼玉)、吉林省(島根)、陝西省(香川)、山東省(山口・和歌山)
合計		500	※訪問先共通:東京

概要と成果：

環境保護・防災に関するセミナー・視察のほか、友好交流自治体への表敬訪問や植樹活動、大学生との交流、地域の参観等を行った。

中国側担当機関：中日友好協会

受入実施：(公財)日中友好会館、一部を(一財)日本国際協力センター、(公社)青年海外協力協会に委託

(3) 中華全国青年連合会代表団 (5つの協力分野)

日中国交正常化45周年記念事業「3つの架け橋」プロジェクトの一環として、「青少年交流」(5つの協力分野)をテーマに、中華全国青年連合会代表団93名を招聘。

招聘期間	招聘人数	団員構成・参加地域	訪問先	派遣機関
12月6日(水) ～12月13日(水)	93	中国青年・大学生	東京・岡山・ 広島・長野・宮 城	中華全国青年 連合会

概要と成果：

中国全土より社会人青年・大学生を招へいし、5つの協力分野のうち経済、観光、少子高齢化をテーマに3分団に分かれ、東京のほか岡山、広島、長野、宮城を訪問し、テーマに関する視察・交流を行った。また、防災に関するセミナーや各地で環境に関する視察等を行うことで環境・防災分野への理解も深めた。中華全国青年連合会派遣による代表団は平成27年度以来2年ぶりの復活となった。

中国側担当機関：中華全国青年連合会

受入実施：(公社)青年海外協力協会に委託

(4) 蘇州市少年サッカー交流代表団

日中国交正常化45周年記念事業「3つの架け橋」プロジェクトの一環として、「スポーツ」をテーマに、蘇州市少年サッカー交流代表団25名を招聘。

招聘期間	招聘人数	団員構成・参加地域	訪問先	派遣機関
7月25日(火) ～7月29日(土)	25	蘇州市の少年サッカーチーム	東京	蘇州市教育局 (受入協力：東村山)

				市、派遣協力：中国 日本友好協会)
--	--	--	--	----------------------

概要と成果：

江蘇省蘇州市の小学生を招聘し、同市と友好都市関係にある東村山市の小学生とサッカー交流を行った。程永華中国駐日大使や木原誠二衆議院議員も参加して、東村山市で記念植樹を行った。

中国側担当機関：蘇州市教育局

受入実施：(公財) 日中友好会館

(5) 戦略的招聘

外務省と在中国日本国大使館等の企画による戦略的招聘の一環として中国青少年等 15 団 535 名を実施。

団名	招聘期間	招聘人数	団員構成	訪問先	派遣機関
中国住宅建築分野環境防災訪日代表団	4月23日(日) ～4月30日(日)	29	中国住宅・都市農村建設部、地方政府、中国建築設計研究院等の職員	東京・宮城・北海道	中国住宅・都市農村建設部他 (派遣協力:在中国日本国大使館)
壹基金防災減災訪日代表団	6月10日(土) ～6月15日(日)	30	深圳壹基金公益基金会及び防災減災関連の公益団体の青年職員	東京・兵庫	深圳壹基金公益基金会 (派遣協力:在中国日本国大使館)
北京職業女性代表団	6月25日(日) ～7月1日(土)	21	北京市婦女連合会に所属する若手女性企業家、医療関係者、幼児教育関係者	東京・新潟・千葉	北京市女企業家協会 (派遣協力:在中国日本国大使館)
中国公益活動家中堅幹部代表団	7月2日(日) ～7月8日(土)	24	中国で環境保護、防災等の公益活動に携わる各界の中堅幹部、青年	東京・三重・愛知	世澤律師事務所 (派遣協力:在中国日本国大使館)
清華大学代表団	7月26日(水) ～7月29日(土)	4	清華大学関係者	東京	清華大学
中国公益弁護士代表団	9月17日(日) ～9月24日(日)	47	中国で環境保護などの公益分野を扱う弁護士の青年	東京・埼玉	良翰事務所(Liang & Co) (派遣協力:駐中国日本国大使館)

北京市国際教育交流センター環境防災交流訪日団	9月19日(火) ～9月25日(月)	24	北京市教育委員会、北京市国際教育交流センター及び北京市の小中高校に所属する職員等	東京・山梨	北京市国際教育交流センター (派遣協力：駐中国日本国大使館)
中国水利部防災減災水環境整備訪日代表団	10月15日(日) ～10月21日(土)	29	中国水利部及び関係機関の青年等	東京・静岡・滋賀・京都・奈良・大阪	中国水利部 (派遣協力：駐中国日本国大使館)
中国外交部定点扶貧県訪日代表団	11月6日(月) ～11月12日(日)	34	中国外交部扶貧弁公室及び雲南省金平県・麻栗坡県の県政府青年行政官	東京・広島	中国外交部 (派遣協力：駐中国日本国大使館)
広東省環境教育青年代表団	11月19日(日) ～11月25日(土)	8	広東省で環境関係の活動を行っている青年等	兵庫・大阪・京都	(派遣協力：在広州日本国総領事館)
中国青年アニメ漫画家訪日団	11月27日(月) ～12月1日(金)	50	アニメ・漫画関連のキー・オピニオン・リーダー、「青年マンガコンテスト」一等入賞者等	東京・宮城	中国公共外交協会、環球ネット (派遣協力：駐中国日本国大使館)
若き津波防災大使	11月4日(土) ～11月9日(木)	174 (中国7、第三国・地域167)	高校生 キリバス、クック諸島、サモア、ソロモン諸島、ツバル、トンガ、ナウル、ニウエ、バヌアツ、パプアニューギニア、パラオ、フィジー、マーシャル諸島、ミクロネシア、スリランカ、モルディブ、モーリシャス、セーシェル、コモロ、インドネシア、アメリカ、中国、チリ、ペルー、タイ	東京・沖縄	各国・地域関係機関

中国民政部災害管理訪日代表団	12月11日(月) ～12月15日(金)	5	中国民政部及び地方 人民政府の職員	東京・兵庫・ 大阪	中国民政部 (派遣協力：駐中 国日本国大使館)
日中友好防災 交流高校生代 表団	平成30年 1月28日(日) ～2月3日(土)	29	北京市の高校生	東京・岡山・ 兵庫	北京市海淀外国語 実験学校 (派遣協力：駐中 国日本国大使館)
青島市青年代 表団	平成30年 3月11日(日) ～3月15日(木)	27	青島市青年連合会に 所属する社会人及び 大学生	東京・山口・ 大阪	青島市青年連合会 (派遣協力：在青島 日本国総領事館)
合 計		535	(中国 368名、第三国・地域 167名)		

概要と成果：

中国住宅建築分野環境防災訪日代表団 ※受入実施：(公財) 日中友好会館

中国住宅・都市農村建設部、地方政府、中国建築設計研究院及びその関連企業の職員等で構成され、東京、宮城、北海道を訪問し、国や自治体の防災対策を学び、東日本大震災被災地の視察や関係施設の訪問・視察を行ったほか、宮城県岩沼市千年希望の丘で植樹活動に参加。

壹基金防災減災訪日代表団 ※受入実施：(公財) 日中友好会館

深圳壹基金公益基金会及び防災減災関連の公益団体の青年職員で構成され、東京と兵庫を訪問し、阪神・淡路大震災後の日本の防災減災対策や防災教育について学び、防災関連施設、NGO、大学等の訪問・視察を行ったほか、兵庫楽農生活センターで植樹活動に参加。

北京職業女性代表団 ※受入実施：(公財) 日中友好会館

北京市婦女連合会に所属する若手女性企業家、医療関係者、幼児教育関係者等で構成され、東京、新潟、千葉を訪問し、長岡市山古志地区での植樹活動をはじめ、新潟県中越地震メモリアル施設の視察、企業や関連施設の視察、関係者との交流を行った。

中国公益活動家中堅幹部代表団 ※受入実施：(公財) 日中友好会館

環境保護、防災等の公益活動に携わる各界の中堅幹部及び青年で構成され、東京、三重、愛知を訪問し、環境・防災に関するセミナー、企業における環境対策、防災対策、学校現場での防災教育などについての視察を行った。三重県四日市市で公害問題への対応と教訓を学び、植樹を実施。

清華大学代表団 ※受入実施：(公財) 日中友好会館

清華大学の元学長と研究者を招聘し、植樹活動をはじめ、防災及び環境に関する視察や日本側関係者との表敬・面会等を行った。

中国公益弁護士代表团 ※（公社）青年海外協力協会に実施委託

環境保護等の公益分野を扱う青年弁護士で構成され、東京、埼玉を訪問し、環境保全等に関するセミナー、関連施設の視察を行った。また東京で開催されたローエイシア年次大会一部会合にも出席した。埼玉県小鹿野町で記念植樹を行った。

北京市国際教育交流センター環境防災交流訪日団 ※（一財）日本国際協力センターに実施委託

北京市教育委員会や北京市国際教育交流センター、北京市の小中高校に所属する青年で構成され、東京、山梨を訪問し、環境・防災のテーマに沿い、文部科学省や東京都教育委員会で行政の取り組みを学び、各地の小中学校を訪問して環境・防災教育の現状等について視察した。山梨県笛吹市で植樹活動を行った。

中国水利部防災減災水環境整備訪日代表团 ※（一財）日本国際協力センターに実施委託

中国水利部及び関係機関に所属する青年で構成され、東京、静岡、滋賀、京都、奈良、大阪を訪問した。防災及び水環境分野の専門的な視点をもって、国土交通省や滋賀県琵琶湖環境部で講義を聞き、日本の技術や取組について理解を深め、各地の放水路や砂防施設、ダム、浄化施設等を視察した。静岡県の大沢扇状地で植樹活動を行った。

中国外交部定点扶貧県訪日代表团 ※（公社）青年海外協力協会に実施委託

中国外交部扶貧弁公室及び雲南省金平県・麻栗坡県の県政府青年行政官で構成され、東京と広島を訪問した。総務省、経済産業省を訪問し、山間部の貧困対策・地域振興に関する日本の政策や経験等について理解を深め、広島県への表敬訪問、広島市の農林水産振興・危機管理の関連部門を訪問し、また2014年の豪雨災害の被災地を視察した。広島市で植樹活動を行った。

広東省環境教育青年代表团 ※（一財）日本国際協力センターに実施委託

広東省で環境関係の活動を行っている青年で構成され、兵庫、大阪、京都を訪問し、兵庫県庁や神戸市の環境政策や環境サービス、資源リサイクルについて講義と視察により理解を深め、各地の自然保護施設や企業の環境技術などを視察した。神戸市で植樹活動を行った。

中国青年アニメ漫画家訪日団 ※（公社）青年海外協力協会に実施委託

アニメ・漫画関連のキー・オピニオン・リーダー、「青年マンガコンテスト」一等入賞者等で構成され、東京と宮城を訪問した。東日本大震災の被災地を視察し、震災の教訓と

防災について学び、宮城県岩沼市で植樹活動を行った。また、アニメや動画などコンテンツ産業に関する視察・交流を行い、著名漫画家とマンガ・アニメ業界関係者による講演を聞き交流した。

若き津波防災大使 ※受入実施：中国は（公財）日中友好会館、
第三国・地域は(株)JTBコーポレートセールスに実施委託

「世界津波の日」2017 高校生島サミット in 沖縄に参加する世界 25 カ国・地域の高校生を招聘した。沖縄県宜野湾市で開催された同サミットへの参加のほか、宮古島市・石垣市でのスタディツアーと宜野湾市でのフィールドワークや高校生同士の交流を通じ、日本の津波の歴史や地震・津波等の備え等の防災・減災の取り組みを学び、次世代を担う若者同士、各国共通の課題について議論した。サミットの記念として植樹を行った。

中国民政部災害管理訪日代表団 ※（一財）日本国際協力センターに実施委託

中国民政部及び地方の民政部に所属する青年で構成され、東京、兵庫、大阪を訪問した。内閣府及び姫路市より、それぞれ国、地方自治体の防災施策について説明を受けたほか、東京及び神戸市でコミュニティ防災実施地区の視察を行い、市民レベルの自主的な防災の取り組みについて理解を深めた。姫路市にて記念植樹を行った。

日中友好防災交流高校生代表団 ※（公社）青年海外協力協会に実施委託

北京市海淀外国語実験学校の生徒・引率を招へいし、東京、兵庫にて、防災施設の視察や日本の高校生との交流を行った。特に日本で唯一環境防災学科を設置する兵庫県立舞子高等学校では、日本生徒による防災学習プログラムの実演や日中の防災事情に関するディスカッションを行うなど、防災をテーマに親睦を深めた。更に、岡山県の浮島（苫田郡鏡野町）にて植樹活動を行った。

青島市青年代表団 ※（一財）日本国際協力センターに実施委託

青島市青年連合会に所属する社会人と大学生で構成され、東京、山口、大阪を訪問した。青島市の友好交流都市である下関市にて環境・防災関連施設の視察と青年会議所や大学での交流、記念植樹を行った。

（6） 第三国・地域青少年招聘

第三国・地域の青少年 9 団 210 名を実施した。環境・防災に関するセミナー、関連施設の視察、植樹活動、日本の関係者との交流などを行った。

※株式会社 JTB コーポレートセールスに実施委託

【派遣事業】 実績なし

平成 29 年度は「日中植林・植樹国際連帯事業」による派遣事業の実施はなかった。

2. 「JENESYS2017」「JENESYS2.0」

JENESYSのうち★印の訪日団は「JENESYS2.0」で実施、その他は「JENESYS2017」で実施。

【招聘事業】

(1) 中国高校生短期招聘事業

中国高校生訪日団 971名、アジア国際子ども映画祭参加の中国高校生 10名、香港・澳門高校生 101名、合計6団1,082名を招聘し、それぞれ8泊9日間の日程で実施。

陣名・団名	招聘期間	招聘人数	地域 *テーマ	訪問先	派遣機関
2017年度中国高校生 訪日団第1陣	9月6日(水) ～9月14日(木)	200	吉林省、甘肅省、 広西チワン族自治区 *都市デザイン	東京、千葉、北海道、 長野、愛媛、神奈川、 大阪、京都	中国 教育部
2017年度中国高校生 訪日団第2陣★	10月17日(火) ～10月25日(水)	299	福建省、内モン 古自治区、河 北省、江蘇省、 湖南省 *企業とイ ノベーション	東京、北海道、 群馬、新潟、 香川、沖縄、 山口、埼玉、 岡山、兵庫、 大阪、滋賀、 福井、福岡、 茨城	
2017年度中国高校生 訪日団第3陣★	11月7日(火) ～11月15日(水)	298	海南省、湖北 省、北京市、 山西省、浙江 省 *社会福祉	東京、北海道、 千葉、宮城、 栃木、静岡、 京都、岐阜、 三重、兵庫、 広島、神奈川、 大分、山梨、 宮崎	
2017年度中国高校生 訪日団第4陣	12月5日(火) ～12月13日(水)	174	黒龍江省、貴 州省、江西省 *ものづくり	東京、鹿児島、 茨城、長崎、福 岡、佐賀、 熊本、愛知	

アジア国際子ども映画祭 2017 参加訪日団★	11月21日(火) ～11月29日(水)	10	北京市	東京、北海道	中国教育部
香港・澳門高校生訪日団	12月10日(日) ～12月18日(月)	101	香港、澳門	東京、千葉、 神奈川、奈良、 京都	香港特別行政区政府教育局、澳門特別行政区政府教育暨青年局
合 計		1,082			

概要と成果：

① 中国高校生訪日団第1陣～第4陣、香港・澳門高校生訪日団

いずれも各地域で学校交流を2回したほか、ホームステイや民泊等も体験、同世代の青少年同士や一般市民と交流、親睦を深めた。

中国高校生は、各陣テーマを設け、セミナーや関連施設の視察・参観等を組み、体系的に学ぶ機会を設けた（各陣のテーマ＝1陣：都市デザイン、2陣：企業とイノベーション、3陣：社会福祉、4陣：ものづくり）。また、一部の陣で実業系（商・工・農業等）の専門課程を設置する高校との交流も実施した。第3陣と第4陣の一部はスポーツ交流（サッカー、バレーボール）も行った。

そのほか、大学訪問、企業視察、日本の歴史・文化・自然・政治・経済・先端技術等、さまざまな分野の視察・参観・体験を通し、包括的な対日理解を深めた。

② アジア国際子ども映画祭 2017 参加訪日団

日本を含むアジアの16カ国・地域が参加し、北海道北見市で開催された「第11回アジア国際子ども映画祭」に短編映画を出品、参加して、日本及び他国・地域の小・中・高校生や一般市民と交流を深めた。また都内において学校交流を1回行った。

中国側担当機関：中国教育部、香港特別行政区政府教育局、澳門特別行政区政府教育暨青年局

受入実施：(公財)日中友好会館、一部を(一財)日本国際協力センター、(公社)青年海外協力協会に委託

(2) 2017年度中国青年代表団 ★

中日友好協会派遣による公務員青年と農村青年幹部57名を招聘。

招聘期間	招聘人数	団員構成・参加地域	訪問先	派遣機関
------	------	-----------	-----	------

平成 30 年 1 月 29 日(月) ～2 月 2 日(金)	57	公務員、農村青年幹部 (北京市、河北省)	東京・群馬	中日友好協会
---------------------------------------	----	-------------------------	-------	--------

概要と成果：

北京市と河北省の公務員、農村青年幹部で構成。東京と群馬で、ブリーフや企業、農業関連施設、環境施設への訪問・視察を行い、関係者と交流、行政による中小企業支援や農村の振興と地域活性化、環境整備などの行政サービスについて学んだ。中国の公務員海外出張日数の規定により 4 泊 5 日の行程で実施。

中国側担当機関：中日友好協会

受入実施：(公財) 日中友好会館

(3) 第二十二回中国教育関係者代表団 ★

中日友好協会派遣による第二十二回中国教育関係者代表団 59 名を招聘した。

招聘期間	招聘人数	団員構成・参加地域	訪問先	派遣機関
平成 30 年 1 月 29 日(月) ～2 月 2 日(金)	59	小・中・高等学校の教員等 (北京市、甘肅省、黒龍江省、 安徽省)	東京、大阪、京 都	中日友好協会

概要と成果：

教育交流事業として平成 8 年にスタートして以来、22 回目の実施となった。訪日日数は 4 泊 5 日で実施した。文部科学省による新学習指導要領に関するブリーフ、大阪市教育委員会との懇談会に参加したほか、東京で公立の小・中学校、大阪で公立高校をそれぞれ訪問し、日本の教育事情についての理解と知識を深めるとともに、教師や教育関係者、生徒たちと交流した。

中国側担当機関：中日友好協会

受入実施：(公財) 日中友好会館

(4) 2017 年度中国社会科学院青年研究者代表団

中国社会科学院派遣による青年研究者代表団 2 団 49 名を招聘した。

陣名	招聘期間	招聘人数	テーマ	訪問先	派遣機関
第 1 陣	6 月 25 日(日) ～7 月 2 日(日)	25	文化遺産の保護	東京、大阪、奈 良	中国社会科学院
第 2 陣	10 月 15 日(日) ～10 月 22 日(日)	24	グリーン経済	東京、京都、大 阪	

合 計	49
-----	----

概要と成果：

団員は社会科学院に所属する若手青年研究者で構成、第1陣は「文化遺産の保護」、第2陣は「グリーン経済」をテーマに、関連するブリーフ・視察・参観・関係者との意見交換等を行った。日本の研究者と交流するとともに、団員からも発表するなど相互交流を深めた。

中国側担当機関：中国社会科学院

受入実施：(公財)日中友好会館

(5) 2017年度中国青年メディア関係者代表団

中央・地方の若手メディア関係者、メディア行政関係者 285名を3回に分けて招聘した。

陣名	招聘期間	招聘人数	テーマ	訪問先	派遣機関
第1陣	7月23日(日) ～7月30日(日)	97	少子高齢化、農業、 建築と不動産業	東京、神奈川、千 葉、島根、福井、 岩手	中国国務院 新聞弁公室
第2陣	10月22日(日) ～10月29日(日)	91	医療、教育、食文化	東京、静岡、石川、 兵庫	
第3陣 ★	平成30年 3月25日(日) ～4月1日(日)	58	科学と発明、 スポーツ	東京、山形、宮城	
合 計		246			

概要と成果：

団員は中央・地方の若手メディア関係者やメディア行政関係者で、所属分野も新聞社、放送(テレビ・ラジオ)、出版(雑誌)、インターネット等の制作・編集担当や記者、プロデューサー等、さまざまなメンバーで構成された。

全陣共通で、首都圏及び地方の報道機関を訪問、メディア関係者同士で交流し、日中双方のメディア事情について理解を深めた。各陣・各分団テーマは中国側の関心事項及び日中共通の課題から設定し、テーマに沿った中央省庁や自治体・専門家によるブリーフや、関連機関・団体・企業・施設の訪問視察を行った。そのほか海外メディア独自の視点で日本や各地域の魅力を発見し、各テーマに対して一層の理解を深めるため、街頭で自由取材を実施した。その他、第1陣・第3陣では地方で農家民泊も実施、日本人の生活にも触れ、一般市民との交流を深めた。

中国側担当機関：中国国務院新聞弁公室
受入実施：(公財) 日中友好会館

【派遣事業】

(1) 2017 日本青年メディア関係者訪中団 ★

中国国務院新聞弁公室の招聘により、日本の青年メディア関係者 39 名を派遣した。

派遣期間	派遣人数	分団・テーマ	訪問先	受入機関
12月3日(日) ～12月9日(土)	39	医療、教育	北京市、江蘇省、 浙江省、上海市	中国国務院 新聞弁公室

概要と成果：

団員は日本全国の新聞・放送・雑誌等の青年メディア関係者で構成。中国のメディア機関を訪問し、意見交換を行ったほか、「医療」と「教育」のテーマに基づき、管轄する中央機関や各地の医療機関・学校などを訪問・視察、関係者と交流し、中国のメディア事業や経済発展、民生事情について理解を深めた。

中国側担当機関：中国国務院新聞弁公室
派遣実施：(公財) 日中友好会館

(公2) 寄宿舍施設の運営 : 留学生事業部

中国留学生・研究員の受入事業用施設として「後楽寮」及び「後楽寮研修棟」がある。「後楽寮」には203室(1階～3階)、「後楽寮研修棟」には34室(後楽賓館2,3階)がある。

1. 後楽寮入退寮状況

(1) 資格区分別入退寮者数

	平成29年4月1日 時点の在寮生数	平成29年度		平成30年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
国家公派	124	73	82	115
単位公派	16	9	15	10
自費学生	38	27	33	32
華僑学生	1	0	0	1
合計	179	109	130	158

* 国家公派とは中国教育部の派遣留学生・研究員

* 単位公派とは地方政府機関、大学、研究所の派遣留学生・研究員

* 自費学生は大学院正規課程生(修士課程・博士課程)

(2) 男女別入退寮者数

	平成29年4月1日 時点の在寮生数	平成29年度		平成30年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
男子	94	44	64	74
女子	85	65	66	84
合計	179	109	130	158

2. 後楽寮研修棟入退寮状況

(1) 資格区分別入退寮者数

	平成29年4月1日 時点の在寮生数	平成29年度		平成30年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
国家公派	9	14	13	10
単位公派	5	23	15	13
合計	14	37	28	23

* 国家公派とは中国教育部の派遣留学生・研究員

* 単位公派とは地方政府機関、大学、研究所の派遣留学生・研究員

(2) 男女別入退寮者数

	平成 29 年 4 月 1 日 時点の在寮生数	平成 29 年度		平成 30 年 3 月 31 日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
男子	9	14	13	10
女子	5	23	15	13
合計	14	37	28	23

3. 開館以来の入退寮状況

「後楽寮」は昭和 60 年(1985 年)4 月に、また「後楽寮研修棟」は昭和 63 年(1988 年)4 月に開設された。それぞれ満 32 年および 29 年が経過したが、その間の入退寮者数は「平成 30 年 3 月末現在」次の通り。

	入寮数	退寮数
後 楽 寮	3,868	3,710
後楽寮研修棟	1,015	992
合 計 (人)	4,883	4,702

4. 後楽寮修繕・改修工事

後楽寮 5 ヶ年修繕計画も最終の 5 年目、当初の計画に基づき修繕工事および改修工事を実施。

(1) 5 ヶ年改修計画

- ・寮 2 階、3 階共用部の壁の塗り替え工事 (8 月)
- ・植栽高木類剪定・枝おろし及び伐採工事 (12 月)
- ・雪害による後楽寮脇のケヤキ枝下ろし作業 (1 月)

(2) その他の修繕・改修工事

- ・2 階居室扉交換工事: 鍵をシリンダー錠からオートロック方式に全室更新 (4 月)
- ・寮厨房回転釜のガス管ガス栓交換工事 (4 月)
- ・1 階居室扉交換工事: 鍵をシリンダー錠からオートロック方式に全室更新 (5 月)
- ・3 階共用部窓ガラス破損交換工事 (5 月)
- ・寮 1 階受付室内の壁塗り替え等の更新工事 (5 月)
- ・事業部事務室の壁の塗り替え、応接室の床張り替え (5 月)
- ・1 階東側トイレ、シャワー室配管更新工事 (6 月)
- ・寮裏口外階段の清掃、壁塗り替え、階段ノンスリップ工事 (8 月)
- ・後楽寮研修棟排水管高圧洗浄 (9 月)
- ・内階段 (事務室前) ノンスリップ工事 (9 月)
- ・寮地下 1 階・厨房裏側女子トイレ洗面台排水管更新 (10 月)
- ・寮地下 1 階・厨房定温型感知器 3 台交換 (10 月)
- ・後楽寮 1~2 階・男子シャワー室の棚板更新交換 (11 月)

- ・後楽寮 2～3 階・共用部煙感知器 2 台交換（11 月）
- (3) 寮内環境改善工事
- ・1 階監視盤、地下 1 階共用部ライト更新工事（8 月）
 - ・4 階室内球技場のライト交換、タイマー式への更新工事（8 月）
 - ・地下 1 階閲覧室のテーブル磨き塗替え（8 月）
 - ・閲覧室新規棚設置（10 月）
- (4) 定期清掃および点検
- ・後楽寮・後楽寮研修棟の消防設備点検
 - ・後楽寮・後楽寮研修棟居室のフィルター清掃
 - ・ダムウエーター点検
 - ・給湯室・トイレ・シャワー室等共用部清掃（週 5 日）
 - ・居室シーツ交換（毎月 2 回）

5. 活動実績

(1) 寮内行事

- ・本年度も国慶節祝賀会を 9 月 23 日、春節祝賀会を 2 月 3 日に開催。この後楽寮の 2 大祝賀会は自治組織である寮生委員会主催による行事であり、ホームステイや交流行事でお世話になった方々をご招待し交流を深め、また寮生同士の親睦をはかる行事でもあり、会館は今年も支援した。
- ・会館職員との交流や寮生同士の交流を深めるため、本年度も 8 月に事業部主催の納涼会を開催した。第 4 回目となった今回も昨年度同様、留学生事業部職員が模擬店（射的、輪投げ、飴玉拾い、金魚すくい）を出店、交流だけではなく、日本の文化なども体験が出来るように工夫し実施。
- ・後楽講堂は開催してより 3 年半が経過、150 回を超えた。内容も回を重ねるごとに充実し、外部講師による講義も多く行われ、今では寮生だけではなく寮生の友人や日中学院の講師の方々、会館職員も聴講しに来る“交流講堂”となった。
- ・留学生事業部は寮生委員会との協議会を毎月 1 回定期的に実施、後楽寮の生活改善のために意見交換や情報交換を行った。

※後楽講堂とは・・・寮生や寮生 OB または外部の方が講師となり、自分の研究等について講義をする交流会のこと。

(2) 寮外行事

今年も後楽寮の 3 大ホームステイ先である長野県日中友好協会・日中加須市民会議・小田原国際交流協会とのホームステイを実施、支援。また、都内各区の日中友好交流行事への参加、また文京区国際交流フェスタなど中国文化を文京区民の方に紹介する行事などにも継続参加、支援。また毎年実施しているスキーの体験教室も 3 月に実施、支援。

(3) 後楽会（中国）友好联谊会

設立 6 周年を迎えた後楽会（中国）友好联谊会（以下、後楽会（中国）という）は、

2 分会(天津、遼寧)の設立を今年目標にしていたが実現には至らず。第 6 回定期総会が 11 月 4 日に行われ、毎年のように参加している寮生 OB と 9, 10 月に帰国したばかりの新旧元寮生交流が活発に行われ盛況であった。会館からは鄭祥林中国代表理事と留学生事業部職員が出席し、後楽寮生 OB との親睦を深めることができた。会館は今年度も後楽会(中国)友好聯誼会を支援した。

(公3) 中国語及び日本語教育 : 日中学院

1. 全体の活動状況

入学式 (2017年4月5日)、授業開始 (4月10日)、卒業式 (2018年3月15日)
 講演会 4回 (5月の中国大使館薛劍公使など)
 学院報 505~516号 (毎月1日付け発行)

2. 学科状況

本年度、日中学院の在籍者数

	定員	平成30年3月	平成29年3月	平成28年3月
本科1年	40 (2)	20 (1)	14 (1)	9 (1)
本科2年	40 (2)	12 (1)	14 (1)	9 (1)
本科研究科	20 (1)	6 (1)	3 (1)	5 (1)
日本語科1年	40 (2)	30 (2)	21 (1)	10 (1)
日本語科2年	40 (2)	15 (1)	19 (1)	7 (1)
日本語科10月生	20 (1)	19 (1)	—	—
別科 夜間講座	—	176	176	183
別科 昼間講座	—	361	368	362
別科 文化講座	—	—	0	10
合計		639	615	595

※ () はクラス数

3. 各科活動状況

(1) 本科

① 2017年度卒業生数

本科 11名 (修了生1名を含む) 本科研究 4名 (科目履修生2名含まず)

② 2017年度の主な行事

日本語科との合同合宿 (5月16日~17日) /朗読大会 (7月5日)
 文化祭 (10月21日) /合同弁論大会 (2月6日)

③ 公開講座 8月26日、11月11日、1月27日に実施した。

④ 中国短期研修

派遣先: 中国人民大学 派遣期間: 6月25日~7月31日
 参加者数: 15名

⑤ 進路指導

・2年生進路面接 4月、9月

- ・ 本研学生の個人面談 4月、9月
- ・ 進路懇談会 6月

(2) 別科（付帯教育）

- ① 公開無料講座 年間 26 クラス開講
- ② 1日集中講座 2月3日
- ③ 朗読大会 9月30日
- ④ 日本語科留学生との昼食交流会 6月7,8,9日
- ⑤ 短期留学 派遣先：天津外国語大学 参加者数：23人
期間：9月2日～28日（延長組10月5日まで滞在）

(3) 日本語科（専門課程）

- ① 卒業生数 15名(内2名修了)
- ② 2017年度の主な行事
本科との合同合宿（5月16日～17日）、
別科との昼食会（6月7,8,9日）、ホームステイ（7月15日～17日）、
文化祭（10月21日）、ディズニーランド観光（11月17日）、
小石川庭園見学（12月8日）、鎌倉ハイク（12月9日）
国会見学（1月17日）、春節パーティ（2月15日）、合同弁論大会（2月6日）、
卒業旅行（3月5～6日）
- ③ 進路指導 進学説明会（6月30日） 個人面接（11月24日、12月1日）

4. 校友会活動

- ① 文化祭発表
- ② 校友会旅行 三峡クルーズの旅（2018年3月27日～4月1日）
写真交換会(7月8日)

5. 日中学院評議会

開催日時	場所	議事事項
第37回 2018年2月20日（火） 午後2時00分～3時00分	日中学院	〔議事〕 ① 2018年度年日中学院活動計画について ② 2018年度日中学院収支予算について ③ その他

(公4) 文化事業 : 文化事業部

平成 29 年度の文化事業は主催・協力事業合計 6 件、会館美術館での貸美術館催事は 28 件であった。

1. 主催・協力事業

(1) 「薪火の相伝—景德鎮現代陶磁作品展」

会期：平成 29 年 6 月 15 日（木）～7 月 5 日（水）

来場者数：1,615 人（17 日間・1 日あたり 96 人）

陶磁器の産地として世界的に名高い江西省景德鎮から、伝統技術を受け継ぎながらも自らの芸術を作り出している中国工芸美術大師の秦錫麟氏と弟子の邱含氏、陳敏氏の 3 名による陶磁作品約 100 点を借用し展示。

関連イベントとして、復旦大学大学院博士課程在籍で東京芸術大学大学院の（当時）特別研究生である楊小語氏を講師に迎え、「中国磁器史について」の講演会を、揚琴奏者の張林氏によるミュージアムコンサートを開催。

又、当会館での開催後、長崎孔子廟中国歴代博物館へ巡回。

(2) 第 27 回中国文化之日「多彩貴州 貴州少数民族衣装展・茅台酒の故郷 —馮学敏貴州風情写真展」

会期：平成 29 年 10 月 14 日（土）～10 月 29 日（日）

来場者数：1,857 人（14 日間・1 日あたり 132 人）

貴州省にて収集された精巧な刺繍や彩りの美しさが魅力の少数民族衣装や銀の装飾品など約 25 セットと共に、在日写真家馮学敏氏が撮った貴州省の風情写真 40 点を展示。想いを込めてひとつひとつ手作りされた衣装の模様と色彩の豊かさに感動したという意見が寄せられた。

また、衣装とともに現地の様子が伝わる写真も展示したことで、来場者により深く貴州の雰囲気味わって頂けるようにした。

(3) 第 27 回中国文化之日「多彩貴州—貴州少数民族歌舞公演」

会期：一般公演 平成 29 年 10 月 28 日（土）～10 月 29 日（日）全 4 回公演

小学生・園児招待特別公演 平成 29 年 10 月 27 日（金） 1 回

貴州省観光プロモーション特別招待公演 平成 29 年 10 月 27 日（金） 1 回

来場者数：1,074 名（3 日間 6 回公演）

貴州省凱里学院音楽学院の教師と学生たちによる民族歌舞・楽器演奏を紹介。

招待公演では、近隣の小学校の生徒と保育園の園児 163 名が、一般公演では 721 名が、幅広い年齢層の観客が集まり、大盛況な公演となった。また、貴州側が主催する貴州観光プロモーション及び招待公演には旅行業関係者やマスコミの来場も多く見られ、約 190 名が来場。

ミャオ族の舞踊や歌、民族楽器芦笙の演奏、少数民族衣装ショーなどバラエティに富んだプログラム構成で、幕間には出演団員にインタビューを行い、貴州省に暮らすミャオ族などの少数民族の人々の文化と暮らしを紹介。

来場者アンケートでは、「歌も踊りも衣裳も素晴らしかった」「来年もやってほしい」「芦笙演奏が素晴らしい！」「とても良かった。貴州に行ってみたい！」など、好評であった。

(4) 「上海現代竹彫刻精品展」

会期：平成 30 年 2 月 1 日（木）～2 月 25 日（水）

来場者数：2,014 人（22 日間・1 日あたり 91.5 人）

中国の第一次国家級無形文化遺産として登録された、上海嘉定地区に伝わる竹彫刻（竹刻）を展覧会。無形文化遺産伝承人のひとり・張偉忠氏を中心に現代の工芸士 13 名による嘉定の竹彫刻 85 点を展示した。

開幕式には、同じく中国の竹文化のひとつである竹笛の特別演奏が日本人奏者によって披露され、日中両国そしてジャンルを超えた共演となった。式後には、来日した竹彫刻家の王順建氏と朱淑紅氏の 2 名による制作実演を行なった。

会期中、春節にあたる 2 月 16 日には琵琶のミュージアムコンサートを開催。また、中国グッズがあたる抽選会も開催。

アンケートでは、「精巧で美しい、素晴らしい」という声が多数寄せられたが、一方で「作品の細部が見にくい」との意見も寄せられ、会期中にディスプレイの修正を行いより見やすくなるようにした。

(5) 湖山勝概 西湖主題水印版画展 *名義主催展

会期：平成 29 年 5 月 9 日（木）～5 月 18 日（木）

来場者：390 人（10 日間・1 日あたり 39 人）

浙江美術館が所蔵する西湖を主題とした水印木版画作品を展示。水印木版画は、豊かな表現力が特徴となる中国独特の技法と材料で制作される版画であり、その作品が書籍を連想させる工夫を凝らした方法で展示された。

本催事は 2017 年度事業計画時点では予定されていなかったが、国家重点美術館の一つである浙江美術館からの依頼を受け、主催名義の使用を許可し、浙江美術館館員の来日招

聘状を発行した他、開幕式などの運営を補助した。

(6) 中日青年ジュエリーデザイナー東京交流展 *協力展

会期：平成 29 年 7 月 19 日（水）～7 月 23 日（日）

来場者数：328 人（5 日間・1 日あたり 66 人）。

中国側作品として、2017 年開催の「第三回上海新鋭アクセサリーデザインコンクール」から選抜した作品を中心に約 100 点、日本側作品としてヒコ・みづのジュエリーカレッジの学生の作品約 20 点と石川県の伝統工芸士・大下香征氏の作品 4 点を展示。

当会館は、会場の提供や招聘状の発行、開幕式や展示期間中の会場運営、ポスターやチラシなどの広報物および会場内のキャプション類の翻訳確認などの業務を担当し、主催の上海工芸美術博物館に協力。

展示品が若手のデザイナーによるジュエリーであったため、来場者の年齢層とともに会場内はいつもとはまた違う雰囲気であった。また、中国側・日本側両方の作品を展示することで、取り上げた題材やデザインはもちろん、材質の選び方にもそれぞれの国の特徴が見えてきて興味深い展覧会となった。

2. 貸美術館展覧会実績

（平成29年4月～平成30年3月）

NO	展覧会名	会期	主催
1	日中国交正常化 45 周年記念 林石川作品展	4 月 6 日～4 月 12 日	亜細亜国際交流株式会社
2	夢廻長白—中国東北三省撮影展	4 月 20 日～4 月 23 日	外為ファイネスト
3	孟凡瑞・孟亜妹 東京展	4 月 24 日～4 月 28 日	(一財) 日中文化交流センター
4	3名の美術評論家が推す2017注目作家展～第3回美の視点	5 月 20 日～5 月 24 日	美術の杜出版株式会社
5	“視覚中国夢 芸術世界行” 一張利華油画作品世界巡回展	5 月 25 日～5 月 30 日	北京邁錫尼文化傳播有限公司
6	“大墨開元・同息文明” 一大禪藝術世界巡回展	5 月 31 日～6 月 9 日	北京最元文化傳播有限公司
7	日中国交正常化 45 周年 日中友好書道展「つなぐ」	7 月 25 日～7 月 31 日	(株)エム・ケイ・ツー
8	墨魂彩韻—中国画名家劉赦・張曉凌・張譚丹・陳允陸展	8 月 1 日～8 月 5 日	中国国家画院 南京師範大学美術学院

9	刀筆銘心—中日書画刻字展	8月14日～8月17日	北京啓徳齋文化伝播有限公司
10	妙行無住—中国画家王新絵画個展	8月18日～8月22日	特定非営利活動法人チベット 高原初等教育・建設基金会
11	筆之友選抜書展	8月23日～8月27日	書道奨励教會
12	日中国交正常化40周年記念 若雲書道東京展	8月29日～9月4日	亜細亜国際交流株式会社
13	第三回聴雨楼美術館東京藝術展—三賢書道	9月5日～9月8日	北京永瑞聴雨楼美術館
14	中国景德鎮陸如師徒陶器及び書画作品展	9月11日～9月17日	北京永瑞聴雨楼美術館
15	中国永宝齋水印版画作品展	9月19日～9月24日	北京永宝拍賣有限公司
16	翰墨海上風—翟倚衛・淳捷書法雕藝術展	9月25日～9月29日	華人藝術家雜誌社
17	佐藤弘延の世界展	10月4日～10月11日	佐藤弘延（個人）
18	第15回東瀛印社篆刻会	10月31日～11月5日	東瀛印社
19	劉振夏写実人物画展	11月6日～11月12日	至徳堂株式会社
20	第20回国際水墨画交流展	11月18日～11月23日	国際水墨画交流協会
21	百年回顧—徐悲鴻師生展	11月27日～12月4日	北京東方文化国際交流促進会
22	《芸巡東方》瀋陽-東京 王寧書法展並びに 友好書法交流展	12月14日～12月20日	在瀋陽日本地方自治体交流プ ラットフォーム（中国 NGO）
23	日中国交正常化45周年記念 日中書教育交 流展	12月22日～12月24日	東京学芸大学書道教育研究 会、山西大学美術学院
24	変わりゆく暮らし—中国ノスタルジー	1月11日～1月15日	安井聡子（個人）
25	第16回天真書法塾発表会	1月19日～1月21日	（一財）天真会 天真書法塾
26	中国奥地の蘭展・書峯展	3月5日～3月11日	中国奥地の蘭協会・書峯会

27	3名の美術評論家が推す2018注目作家展～第4回美の視点	3月15日～3月20日	美術の杜出版株式会社
28	遼寧中日青少年書法交流展	3月22日～3月26日	瀋陽翼風伝力文化传播有限公司

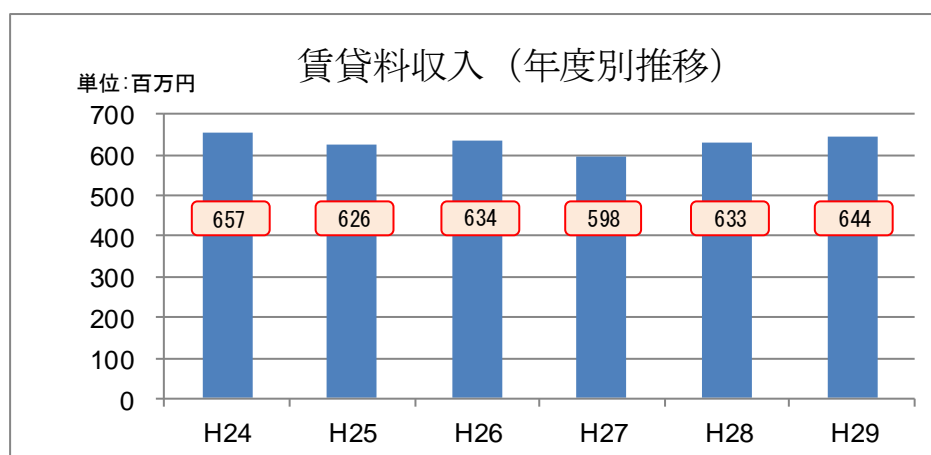
〔Ⅱ〕 収益事業

オフィスビル賃貸事業及びホテル運營業務 : 資産管理部

1. オフィスビル賃貸事業（後楽国際ビルディング）

平成29年度の賃貸料収入は約644百万円であり、対前年度比で約11百万円の増加となった。期中、倉庫も含めて全ての貸室が満室稼働であった。

平成28年度中に3ヶ月のフリーレント期間が設定されていたテナントがあったが、平成29年度は賃料の満額が全期間で入金された事により収入増加に繋がった。



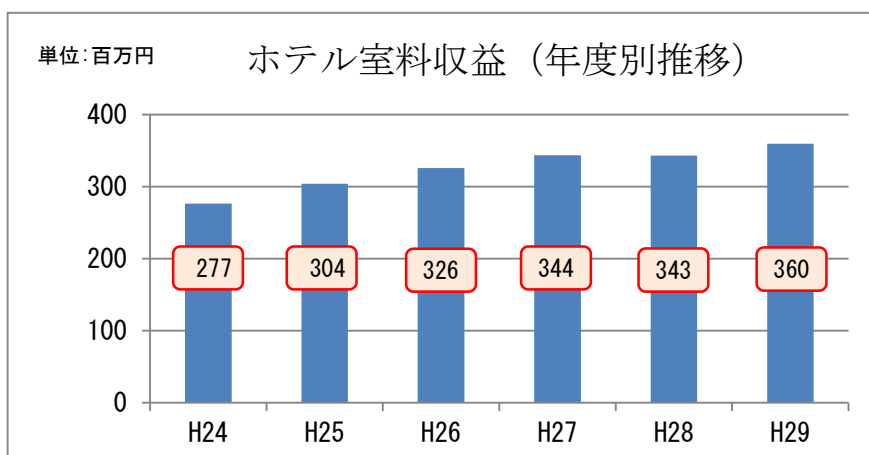
※賃貸料収入には、テナント賃料の他、駐車場・駐輪所使用料、大ホール・会議室使用料等の収入が含まれている。

2. ホテル運營業務（後楽ガーデンホテル）

平成29年度のホテル室料収益は約360百万円、客室稼働率は84.9%、客室平均単価は7,456円であった。

前年度との比較では、収益が約16百万円の増収となり、稼働率は2.3%の上昇、平均単価も169円の上昇と、3つの指標で全て前年度を上回る事ができた。

平成29年度は中国人団体客が前年度実績の約60%に留まり、大きな減少を見せたが、企業の宿泊需要の取り込みが顕著に増加した事、また海外系宿泊サイトによる集客の大幅な増加が、好調な業績をもたらした。



※ホテル室料収益には、ホテル客室（151室）の売上に加え、2～3階研修棟（38室）の売上も加算されている。

3. 設備投資計画

平成29年度中の設備更新及び改修工事の主な内容は次の通り。以下の金額は税抜金額。

- (1) ホテル棟／7階客室（20室）及び共用部改修工事
ホテル7階の客室20室と共用部の改修工事。
総工費 4,494万円。6月完了。
- (2) ホテル棟／エレベーター2台更新工事
ホテルエレベーター2台の入替え及びバリアフリー対応工事。東京都観光財団の補助金77万円を得て実施。
総工費 約3,322万円。9月完了。
- (3) 本館事務棟／廊下・エレベーターホール・階段等改修工事
6階及び9～12階の共用部内装工事（タイルカーペット張替え・壁面塗装他）。
総工費 約893万円。9月完了。
- (4) 本館事務棟／1F多目的トイレ改修工事
老朽化した1F多目的トイレの改修工事。
総工費 約397万円。6月完了。
- (5) 本館事務棟／B1F喫煙所改修工事
老朽化した喫煙所の改修工事。厚生労働省の補助金198万円を得て実施。
総工費 約400万円。10月完了。
- (6) 本館共通／外壁タイル張替え及び高圧洗浄・清掃実施
補修用外壁タイルの制作、及び南面外壁タイルの割れや浮き等の補修工事と、それに伴う清掃作業。
総工費 約498万円。11月完了。

以上

〔Ⅲ〕 その他の事業

1. 会員相互友好事業 : 日中友好後楽会

賛助会員組織「日中友好後楽会」は、会館の施設を活用し中国人留学生と直接交流を行うことで相互理解を深め日中双方の親睦の促進を目的として1989年7月創設。

① 会員数

平成30年3月末現在の会員数は65名、法人会員2社。近年は会員の高齢化による会員数減少が進んでいるが、入会希望者は随時受け入れるとったスタンスで運営を継続。

② 談話会・会員集会

月例の行事として、談話会・会員集会を原則として月1回開催。4月、8月、12月は、新年度、お盆休み、年末多忙などの理由で休会としている。通例として、談話会は後楽寮生を講師として招き専門分野における研究成果の一端を日本語で披露してもらう。近年は日本語のできない寮生が増加している傾向にあり講師も日本語のできない者が増加していることから、日本語の堪能な寮生に通訳を依頼している。大学院での研究発表・講評・口頭試問などへの準備として有効なため寮生からまた会員からも様々なテーマの講義を聞けると好評である。

談話会終了後には立食形式による夕食会を開催。食事を楽しみながら自由に寮生と会員が歓談できる。毎回の談話会の出席者は会員、寮生合わせて25～40名程度。

また平成29年度の総会（11月17日）は48名が出席し小石川後楽園内の『涵徳亭』で開催。

③ 友好バスハイク

年2回、会員と後楽寮生が都内あるいは近郊へ友好ハイキングに出かけている。主に貸切バスを利用、朝から夕刻まで長時間会員と寮生が行動を共にするため、実りの多い交流・交歓の機会になっている。平成29年4月25日には、群馬県方面への日帰りバス旅行、平成29年11月15日には埼玉県方面への日帰りバス旅行を行った。

④ 中国旅行

年に一度の会員対象の中国旅行は、6月29日～7月5日の7日間で、江蘇省南京・徐州と山東省済寧・曲阜を巡った。参加者は16名であった。現地在住の元後楽寮生との交流会など、後楽会旅行ならではの活動を行い、交流を図ることができた。

⑤ 会員向け文化講座

月2回、第1、第3木曜日に気功教室と中国画教室が開かれ、いずれも高度な専門家の指導を受けている。スタート以来15年を経過し、両教室とも生徒10名程が受講中。

⑥ 観桜会

会館行事として、毎年桜のシーズンに小石川後楽園内の『涵徳亭』で観桜会を催し、中国大使館をはじめ、会館理事・評議員、後楽会会員、後楽寮生を招待している。平成29年度の観桜会（平成30年3月22日）は27回目となり出席者74名にて開催。

平成29年度後楽会活動（平成29年4月～平成30年3月）

日付	催事	参加者数
4月25日	春季友好バスハイク（群馬県方面 富岡製糸場、こんにやくパーク）	22
5月25日	談話会・会員集会「東アジアに往還する渡日僧と日中文化交流」 講師：王川	29
6月22日	談話会・会員集会「中国陶磁史について」講師：楊小語	20
6月29日 ～7月5日	中国旅行（江蘇省・山東省）	16
8月3日	談話会・会員集会「中国伝統芸能の世界—黄梅劇」講師：王文強	46
9月20日	談話会・会員集会「日本文学と漢字の出会い—万葉集の和歌を通じて」 講師：林宇	24
10月17日	談話会・会員集会「余情・余白・余韻—詩・琴・書画から見る審美的おもむき」講師：王玉紅	27
11月15日	秋季友好バスハイク（埼玉県方面 クリクラ本庄工場、中島紺屋での藍染め体験）	17
11月17日	全体集会 後楽会会員総会（もみじの会）	48
1月12日	談話会・会員集会 新春談話会	33
2月28日	談話会・会員集会「日中舞踊の縁」講師：範舟	34
3月22日	全体集会 第27回観桜会	74

[IV] 法人の状況

1. 評議員会

開催日時・場所	議 事 事 項
第12回評議員会 平成29年6月23日（金） 日中友好会館	議題 第1号議案：平成28年度 事業報告の承認 （自平成28年4月1日至平成29年3月31日） 第2号議案；平成28年度 計算書類の承認 （自平成28年4月1日至平成29年3月31日）
評議員懇談会 平成29年6月23日（金） レストラン「馥」	評議員、理事、監事の懇親会
臨時評議員会 平成30年3月23日（金） 日中友好会館	第1号議案：事業計画書、収支予算書、資金調達・設備投資計画書の承認 （自平成30年4月1日至平成31年3月31日） 第2号議案：平成30年度常勤役員の報酬（案）の承認
評議員懇談会 平成30年3月23日（金） レストラン「馥」	評議員、理事、監事の懇親会

2. 理事会

開催日時・場所	議 事 事 項
第 24 回理事会 平成 29 年 6 月 8 日（金） 日中友好会館	議題： 第 1 号議案：平成 28 年度計算書類・事業報告の承認 （自平成 28 年 4 月 1 日至平成 29 年 3 月 31 日） 第 2 号議案：定時評議員会招集の決定 日時：平成 29 年 6 月 23 日（金） 場所：日中友好会館地下 1 階大ホール 議題：①平成 28 年度 事業報告 ②平成 28 年度 計算書類の承認 第 3 号議案：加藤啓一氏の総務部長任用の承認 報告： （1）代表理事の職務の執行の状況 （自平成 28 年 4 月至平成 29 年 3 月） （2）定期預金残高の報告（平成 29 年 3 月末現在）
第 25 回理事会 平成 29 年 9 月 8 日（金） 日中友好会館	報告： （1）代表理事の職務の執行の状況 （自平成 29 年 4 月至平成 29 年 8 月） （2）定期預金残高の報告（平成 29 年 8 月末現在）
第 26 回理事会 平成 29 年 12 月 8 日（金） 日中友好会館	報告： （1）代表理事の職務の執行の状況 （自平成 29 年 9 月至平成 29 年 11 月） （2）定期預金残高の報告（平成 29 年 11 月末現在）
第 27 回理事会 平成 30 年 3 月 8 日（木） 日中友好会館	議題： 第 1 号議案：事業計画書、収支予算書、資金調達・設備投資計画書の承認 （自平成 30 年 4 月 1 日至平成 31 年 3 月 31 日） 第 2 号議案：臨時評議員会の招集の決定 ・日時 平成 30 年 3 月 23 日（金） ・場所：日中友好会館 地下 1 階 大ホール ・議題：①平成 30 年度（自平成 30 年 4 月 1 日至平成 31 年 3 月 31 日）

	<p>事業計画書、収支予算書、資金調達・設備投資計画書の承認</p> <p>②平成 30 年度常勤役員の報酬（案）の承認</p> <p>報告：</p> <p>(1) 代表理事の職務の執行の状況 (自平成 29 年 12 月至平成 30 年 2 月)</p> <p>(2) 定期預金残高の報告（平成 30 年 2 月末現在）</p>
--	---

3. 広報 : 広報チーム

組織横断型の広報チームが各部の意見をとりとまとめ、より有意義な広報を目指して活動。

当会館広報誌として毎月発行している「会館だより」は、各部の活動報告のタイムリーな掲載を心掛け、昨年同様に毎号ホームページにも掲載。年度始めの会長挨拶、年頭の理事長と中国代表理事の挨拶、役員によるコラムの掲載を継続し、理事の紹介を兼ねたコラムを掲載。新たに後楽寮生によるコラムを創設し、寮生それぞれの留学生活の一端を紹介する企画として好評を得ている。会館ホームページは引き続き運営、情報の見やすさ、使いやすさのアップのため、一部ページの見直しと更新を行い、情報の随時更新に努めた。文化事業部では行事案内のためフェイスブックを立ち上げ、会館ホームページからリンクさせて情報提供の一部としている。

活動の総括として「日中友好会館年報」を平成 29 年 7 月に発行し、関係先に配布。メールマガジンの発行は、毎月初旬に「会館だより」を主な内容として発行。また、会館による美術館での主催展にあわせて、特集メールマガジンを臨時発行。又、送付先拡大のため、各部の関係先を見直し追加した。

4. 人事異動（副部長以上）

郭 寧	総合交流部部長	着任	(平成 29 年 5 月 25 日)
加藤 啓一	総務財務部	着任	(平成 29 年 7 月 1 日)

5. 在籍者（平成30年3月31日現在）

公益財団法人日中友好会館 在籍者数

2018/3/31

	役員		職員				嘱託		臨時職員		派遣職員		出向受入		計					
	男	女	管理職		非管理職		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
			男	女	男	女														
役員・事務局長	2						1								3					
	2						1								3	0				
総合交流部			5		9		2				5				21					
			1	4		9	1	1				5			2	19				
留学生事業部			2		2		3				1				8					
			1	1	1	1	2	1				1			4	4				
文化事業部					4		1								5					
						4	1							1	4					
資産管理部			1		1										2					
			1		1									2	0					
総務財務部			1		2		1				2				6					
			1		1	1	1				2			3	3					
その他															0					
															0	0				
計	2		9				18				8		0		8		0		45	
	2	0	4	5	3	15	6	2	0	0	0	8	0	0	15	30				

	教員		職員		計	
	男	女	男	女	男	女
日中学院	57		5		62	
	11	46	2	3	13	49

以上